

所 属	理工学部 知能情報システム学科	氏 名	福田修
研究名	(1) サイバネティック・インタフェースの研究 (2) 医用画像解析に基づく健康支援, 農業支援に関する研究 (3) 行動センシングに関する研究		
キーワード (4～6語)	生体情報, サイバネティクス, 医用画像, センシング, モデリング		

研究の概要

ヒトに代表される生物は, 現在の工学技術ではまだ実現が困難なほど巧みで高度な情報処理能力を備えている. そこで, このような生体の優れた機能(知覚認知, 学習, 運動, 行動など)に着目ながら, 生体工学と情報工学にまたがる領域で主に以下の3つの研究活動を行っている. (1) サイバネティック・インタフェースの研究では, 生体情報のセンシング技術や, モデリング技術に基づいて, 人間と機械との自然なインタラクションを目指している. (2) 医用画像を利用した健康支援, 農業支援の研究では, 判読困難な医用画像の微細な変化をパターン認識技術により捉えることを目指している. (3) 行動センシングに関する研究では, 環境に設置したセンサ群から多量なデータを集積・解析し, 安心安全の提供や, サービスの提供に結び付けることを目指している.

研究の特色

基礎研究から応用研究までの幅広いフェーズで研究をおこなうことを基本方針とし, 学術的な研究と実社会に役立つ応用開発とをバランス良く推進することを心がけている. 情報工学分野だけにとらわれない積極的な異分野融合を推進し, 研究室内だけにとどまらない地域社会とのコラボレーションを目指している.